

2026 年 4 月 吉日

APP インドネシア 環境ツアー 日程変更のご案内

拝啓、貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年実施した「APP 環境視察ツアー」につきまして、ご好評につき本年も実施することとなりました。この機会に是非、APP グループが取り組む“森林保護”、“植林から製紙までの一貫プロセス”、“森の再生プロジェクト～いっしょに SDGs に取り組もう！～”について、直接目にして頂きたい次第です。

ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、普段は足を踏み入れることのできないインドネシア・自然林保護地区へのツアーにご参加いただければ幸甚に存じます。

敬具

-記-

【新スケジュール】

諸事情により出発が 6/14 から 6/21 帰国が 6/18 から 6/25 に変更となっております。

- 6/21(日) 1 日目 終日 移動(日本→ジャカルタ) ジャカルタ泊
6/22(月) 2 日目 AM 移動(ジャカルタ→プカンバル)
PM 育苗研究所、IKP 工場見学 プカンバル泊または工場ゲストハウス泊
6/23(火) 3 日目 AM 植林地、保全林等見学
PM 「森の再生プロジェクト」サイト見学 プカンバル泊
6/24(水) 4 日目 AM 移動(プカンバル→ジャカルタ)
PM APP 本社訪問 ジャカルタ泊
6/25(木) 5 日目 終日 移動(ジャカルタ→日本)

【費用について】

お客様負担(概算)：航空券(約 20~25 万円)、Visa(確認中)、ホテル(ジャカルタ約 2 万円、プカンバル約 1 万円)

APP負担：食事代、インドネシア内の陸路移動(飛行機除く)

※金額はエコノミークラス利用時の概算となります。(お一人様 30~35 万円目安となります)

<日程の詳細>

日程		旅程	詳細
6/21(日) 1 日目	AM~PM	移動(東京→ジャカルタ)	JAL または ANA 便利用
	夜	ジャカルタ市内泊	
6/22(月) 2 日目	AM	移動(ジャカルタ→プカンバル)	ガルダ便利用
		育苗研究所視察	植林用苗の研究所兼育苗設備の視察
	PM	工場視察	木材搬入からパルプ~製紙の生産工程と出荷港の視察
	夜	プカンバル市内泊	
6/23(火) 3 日目	AM	植林地見学	産業植林地と、森林火災対策としての消防訓練などを視察
		樹木園見学	保護したスマトラゾウを飼うために樹木園とした保護林地区を視察
		DMPA 村見学	支援活動によって持続可能な農業を営む地域住民を訪問
	PM	「森の再生プロジェクト」現場視察	「森の再生プロジェクト」がおこなわれている現場の訪問と記念植樹
	夜	プカンバル市内泊	
6/24(水) 4 日目	AM	移動(プカンバル→ジャカルタ)	ガルダ便利用
	PM	APP 本社訪問	環境チームとの面談と、森林火災モニタールームの視察
	夜	ジャカルタ市内泊	
6/25(木) 5 日目	AM~PM	移動(ジャカルタ→東京)	JAL または ANA 便利用 16:00~17:00 頃に東京着

「インドネシア 環境ツアー」について

2013年に「森林保護方針」を発表し、「持続可能な森林管理」を目指してきた APP グループの活動内容の現地視察を目的としたツアーとなります。

以下、APP グループの環境への取組みを是非、現地にてご確認くださいませ。

■APP が取り組む森林保護

現在、地球上の森林はグローバルに深刻化する森林火災や土地開発により、減少傾向が続いています。その中で、APP は 2013 年に森林保護方針を発表し「自然林伐採ゼロ」の誓約を 10 年間以上継続しています。この誓約を維持するための取り組みとして、5 年周期の植林サイクル、保護価値の高い自然林や絶滅危惧種の保護、森林火災に備えた本社モニタールームと消防体制の整備、地域住民

に対して(森林火災の原因である)焼き畑に替わる生計手段の支援、などを行っており、今回の視察でそれぞれの取り組みの現場をご確認いただけます。

■植林から製紙までの一貫プロセスの視察

今回訪問いただく IKP (インダキアット・ペラワン) 工場は、世界有数の生産規模を誇る紙パルプ工場であり、木材原料を供給する植林地の多くも近くに立地しています。植林地に植える苗の研究所兼育苗施設に始まり、植林地で収穫された木材が搬入されて、パルプ・紙となり出荷されるまでの全プロセスを現地にてご確認いただけます。

■“森の再生プロジェクト”現地視察

APP ジャパンは、2020 年 8 月から”森の再生プロジェクト ~いっしょに SDGs に取り組もう!~”を立ち上げました。日本での売上の一部を現地 NGO に寄付して、焼き畑などで荒れた森林を再生する取り組みを推進しつつ、紙製品や紙パッケージにプロジェクトロゴを掲載いただきながら取引先様と一緒に活動を盛り上げています。森林再生は、CO2 吸収だけでなく、生物多様性の保護や水源涵養効果による森林火災の延焼防止にも貢献します。今回は、この活動の現場である地方政府管轄下の荒廃林を訪問し、現場の確認と記念植樹を行っていただきます。

■昨年のツアーの様子



以上

お問い合わせ先: エイピーピー・ジャパン株式会社 コーポレートコミュニケーション本部

E-mail: sustainability@appj.co.jp

電話: 03-5795-0023